

2024年度町田市健康危機管理委員会 会議録要約

日 時：2025年2月5日（水曜日）19時30分から20時30分まで

場 所：市庁舎10階会議室10-3、10-4、10-5

出席者一覧：

所属	氏名	出欠
一般社団法人 町田市医師会	村野 浩太郎	出
社会医療法人社団 正志会 南町田病院	矢野 正雄	出
公益社団法人 東京都町田市歯科医師会	渡部 裕朗	欠
一般社団法人 町田市薬剤師会	佐藤 康行	出
東京都獣医師会 町田支部	原田 智	出
警視庁町田警察署	名地 健二	出
警視庁南大沢警察署	利根 雅之	出（代）
東京消防庁町田消防署	渡邊 豊	欠
町田市民病院	中野 素子	出

※出：出席、出（代）：代理出席、欠：欠席

※敬称略

・要旨

発言者	内 容
委員長 事務局	1. 開会 (1) 委員長挨拶 ～資料確認～
事務局 事務局	2. 報告 (1) 「町田市感染症予防計画」の策定について (資料1-1から1-3に基づき説明) (2) 「町田市保健所健康危機対処計画(感染症編)」の策定について (資料2に基づき説明) ((1)(2)ともに委員からご意見、ご質問なし)
事務局	3. 議事 (1) 「町田市感染症予防計画」に基づく訓練について (資料3に基づき説明) (委員からご意見、ご質問なし)
事務局 事務局 委員長 A委員	4. その他 (1) 「町田市新型インフルエンザ等対策行動計画」の改定について (説明) (委員からご意見、ご質問なし) (2) 「能登半島地震派遣について」 (資料4に基づき説明) 能登半島地震に関して、警察などでも応援派遣等があったと思うが、ご意見等はいかがか。 警察が能登に部隊を派遣したが、トイレ等衛生関連の問題が重要と感じた。被災者に遠慮して、我慢する職員が多かったので、携帯用のトイレなどの衛生用品を配布した。復旧部隊要員の衛生管理の後方支援が必要だと感じた。

B 委員	<p>新型コロナウイルス感染症の流行時、ホテルでの療養患者への対応をした経験から、事前に施設管理者と調整・連携をすることの必要性を感じた。</p> <p>当時、患者が入る前にホテル内部を見せてもらい、通報があった際の対応を事前に決めておき、対応の役に立った。</p> <p>もし、町田市に、療養施設ができる場合は、早い時期で管理者の連絡先や建物等の情報を共有してほしい。</p>
C 委員	<p>「エブリ・コネクト」というシステムを会員薬局に導入することを進めている。これにより、薬局の運営状況や薬の在庫状況が共有できる。また、東京都で「モバイルファーマシー（移動する薬局）」の設置を進めていると聞いている。発災に備え、事前に準備をしておく必要があると考えているので、モバイルファーマシーの設置の話があった際は、各機関や行政と協力して手上げできたらと考えている。</p>
D 委員	<p>(3) その他</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行時、市から警察への情報共有を密に取った方がよいのではないかと思った。警察官は、市民に接することが多く、不安も多く抱えていたと思われる。今後の計画策定や有事に備え、考えておく必要があると思う。</p>
保健所長	<p>消防とは、定期的なミーティングを行い、情報共有ができていたが、警察とは、情報共有が密に取れていなかったもので、反省点である。</p>
	<p>4. 閉会</p>